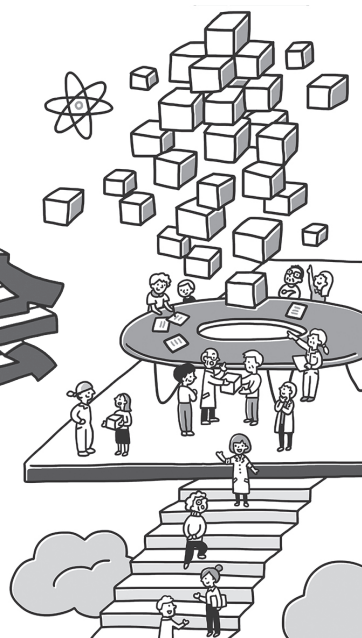


第
1
回



筑波大学 技術職員交流会



平成 31 年 3 月 1 日 筑波大学総合研究棟 B 0112 室

開会式 10:00 - 10:15

開会の辞：実行委員会委員長 小野雅晃（システム情報系技術室）
全校技術委員長挨拶：木越英夫（筑波大学副学長）

分科会Ⅰ. 10:15 - 11:45

特殊任務への挑戦

—南極編・海底撮影編—

下田臨海実験センターでは多種多様な業務に取り組んでおり、今回は南極での活動、および海底撮影装置の開発について発表します。

《南極編》日本では毎年観測隊が南極で活動していますが、その内容はあまり知られていません。今回、第 59 次日本南極地域観測隊に参加しましたので、その調査内容や南極での生活を報告するとともに、南極の生物や風景なども紹介します。

《海底撮影編》ドレッジなどの採集器具を用いた場合、海底環境は生物と一緒に採集された基質から推定しなければなりません。そこで、採集時にアクションカメラを搭載することで、海底を撮影することに挑戦しました。まだ、改善点も多くあり、活発な意見・情報交換を行いたいです。

分科会Ⅲ. 14:30 - 15:30

実習準備と片付けについて

—悩みどころはここにある—

学内の様々な分野の実習に携わる技術職員の方々に、ポスター発表形式で実習準備や片付けに関する具体的な問題点などを挙げていただき、問題点およびそれを回避する工夫などについて情報交換を行います。いろいろな分野のいろいろな悩みどころについて情報交換を行うとともに、実習の内容や業務の内容、技術職員の実習への関わり方など、発表者と参加者相互で理解を深めていくことを目的としています。

閉会式 17:00 - 17:15

閉会の辞：実行委員会副委員長 小林浩三（医学医療系技術室）

分科会Ⅱ. 13:00 - 14:00

夏休み自由研究お助け隊

—ワークショップテーマの紹介と
中学生へのアプローチ—

夏休み自由研究お助け隊は、本学の技術職員が中心となり、近隣の中学生を対象に体験型のワークショップを提供する筑波大学の社会貢献事業の一つです。2018 年には全学で 15 のワークショップテーマを提供しており、今回の交流会ではそのうち 4 つのテーマ担当者によるワークショップの内容説明に加え、中学生へのアプローチ方法に関する創意工夫やテーマの内容の変遷などについて発表を行います。後半は自由に意見交換を行う時間を設けますので、今までお助け隊に参加する機会がなかった方にも理解を深めていただくきっかけになればと考えています。

分科会Ⅳ. 15:45 - 17:00

筑波大学における廃棄物管理

—今さら聞けない廃棄物のいろは—

大学での業務を行う上で切っても切り離せないのが廃棄物の発生とその処分です。廃棄物の取扱いルールや法律を知れば知るほど、普段何気なくゴミとして扱っていたけど本当にその判断で良かったのか？と疑問が出てきます。本分科会では、廃棄物のルール・法律の基礎や処分の実際までを紹介し、参加者間での意見交換や情報交換により日頃抱えている廃棄物に関する疑問を解決していきたいと思ひます。

懇親会 17:30 - 19:00

会場：0112 室 参加費無料 当日参加可